

南ア月報

(2015年12月)

在南アフリカ日本国大使館

主な出来事及び項目

【内政】

- ネネ財務大臣の更迭
- ズマ大統領年末総括ステートメント

【外交】

- 南ア・中国間、26協定に署名
- FOCAC(ヨハネスブルグ行動計画(2016-2018))

【経済】

- 貿易赤字の拡大
- 経常収支の悪化
- 南ア-中国関係①
- 南ア-中国関係②
- 南ア信用格付けの引き下げ

1 内政

●ネネ財務大臣の更迭

9日夜、ズマ大統領はネネ財務大臣の更迭と、デイビッド・ファン＝ローイエン(David van Rooyen)氏を後任として指名する旨を発表した。大統領府は更迭理由について言及しなかったが、一部報道では、財源が限られる中で原子力発電所建設計画や南ア航空救済等を巡って次々に支出を求めるズマ大統領との対立が原因と指摘されている。発表後、南ア・ランドは過去最安値の1ドル15.0563ランドを記録した。

11日、当地各紙は、ズマ大統領が今回の決定についてANCの最高意思決定機関である全国執行委員会(NEC)に諮らなかつたことを、ANC幹部らは快く思っていないと報じた。

13日、大統領府は声明を発出し、本件人事について再考を求める多くの陳情があつたことを受け、ゴードン協調統治・伝統業務大臣を新たな財務大臣に指名するとともに、ファン＝ローイエン財務大臣を新たな協調統治・伝統業務大臣に指名すると発表した。当地各紙は、ズマ大統領がネネ前財務大臣更迭後の各方面からの厳しい批判とプレッシャーに屈服したと報じた。一方ズマ大統領は、ネネ前財務大臣をBRICS新開発銀行(NBD)のアフリカ地域センターのトップとして推薦するべく今回の決断に至つたと述べている。ゴードン大臣の財務大臣再任は各方面より歓迎され、13日夜、ランドは対ドルで約5%上昇した。

●ズマ大統領年末総括ステートメント

18日、ズマ大統領は2015年を総括するステートメントを発出した。本声明においては、社会変革、経済成長促進、治安改善、国際関係、社会一体性の推進等に関するこれまでの取り組み及

び今後の見通しが発表された。特に社会変革の章においては、10月中旬より学生デモが全国規模に広まったこともあり、教育貸付金を30億ランドから95億ランドに拡大させ、高等教育機関に進学を希望する学生を支援すると共に、大学学費値上げ凍結により不足する23億ランドのうち83%を政府が負担する旨発表がなされた。また、一般教書演説で述べられた経済成長のための9つのポイント(農業・農産品加工バリューチェーンの再活性化、鉱物資源に対するベネフィエーションの促進、よりインパクトのある産業政策行動計画(IPAP)の効果的实施、中小企業・協同組合・地方企業の潜在能力の解放、エネルギー課題の解決、労働市場の安定化、民間投資の拡大、海洋経済の拡大、科学技術・水衛生・運輸インフラ・ブロードバンド及び公営企業についての横断的分野の改革・促進・多様化)が改めて強調された。

2 外交

●南ア・中国間、26協定に署名

2日、ズマ大統領は、習近平中国国家主席を接遇し、両国間で26の協定に署名した旨発表したところ、ポイントは以下の通り。

- (1) 両国政府、国有企業及び民間企業は940億ランド(約8千億円)に及ぶ26協定に署名。
- (2) 両国政府、シルクロード経済圏・21世紀海のシルクロード共同建設に関する覚書に署名。
- (3) Eskom と中国国家電網公司は、国際ビジネスでの協力を深化させ、技術・経営・財政上の経験を共有するための法的枠組を創出。
- (4) 中国開発銀行と Eskom 間で融資合意。
- (5) SINOSURE は、中国企業からのトランスネットの調達に際し、トランスネットを支援する保険を適用する予定。

●FOCAC(ヨハネスブルグ行動計画(2016-2018))

9日、FOCACヨハネスブルグ行動計画(2016-2018)が公表されたところ、ポイントは以下の通り。

- (1) 中国・アフリカ双方は過去15年のFOCACの成果を評価。
- (2) 双方は、鉄道、高速道路、地域間航空網及び産業化に於ける中国-アフリカ間の協力促進に関する覚書を積極的に実践。
- (3) 中国は当初100億米ドルを拠出し中国-アフリカ生産能力協力ファンドを立ち上げる。
- (4) 中国・アフリカ鉄道協力行動計画(2016-2020)を策定。
- (5) アフリカ諸国は、中国が主張するアフリカ大陸を含む“21世紀海のシルクロード”を歓迎。
- (6) FOCACの枠組みで海洋経済に関する閣僚級会合の設立を励行。
- (7) 中国は、アフリカへの投資を増強し、2014年324億米ドルの投資残高を2020年には1000億米ドルに引き上げる計画。
- (8) 双方は、2014年2200億米ドルの貿易額を2020年4000億米ドルに引き上げるように努力。
- (9) 中国は中国・アフリカ開発基金を50億米ドルから100億米ドルに徐々に拡大予定。
- (10) 中国は、アフリカ中小企業支援のために特別融資枠を10億米ドルから60億米ドルに拡大。
- (11) 中国は、AU傷病管理センター及び地域医学研究センター建設を支援。
- (12) 中国は、アフリカで20万人の職業・技術訓練を実施し、4万人に中国での訓練機会を提供。
- (13) 双方は、ユネスコに於ける中国によるユネスコ・中国信託基金の成功に留意し、2年間の延長を支援。
- (14) 中国は、中国-アフリカ環境協力センターを設立し、中国・アフリカ緑化導入計画を立ち上げる。
- (15) アフリカ側は、気候変動問題に取り組むために他の開発途上国を支援する200億人民元に

及び中国南南協力基金立ち上げを歓迎。

(16)中国は今後3年間無償で軍事支援を行うためにAUに600万米ドルを拠出予定。

(17)第7回FOCAC閣僚級会合は2018年に北京で開催。第12回及び第13回高級実務者会合は2017年及び18年に開催予定。第4回中国・アフリカ外相間政治協議は国連総会のマージンで2016年9月に開催される予定。

3 経済

<経済指標>

●貿易赤字の拡大

南ア歳入庁は、10月の貿易収支は、赤字額が214億ランドだと発表した。クリスマスシーズン準備のための輸入が増加し、低迷するコモディティ価格と中国経済の失速を反映した輸出の減少が要因にあげられる。

●経常収支の悪化

南ア準備銀行は、第3四半期の経常赤字が拡大したこと発表した。貿易赤字の拡大と配当金の減少が要因にあげられる。経常赤字は第2四半期の対GDP比3.1%からの4.1%に拡大した。これは、鉱業と製造業の生産高の大幅な減少が要因である。

<出来事>

●南ア-中国関係①

2015年12月4～5日に、ヨハネスブルクにて、第6回中国・アフリカ協力フォーラム(FOCAC 6)が首脳級で開催された。2000年にFOCACが始まって以来、中国-アフリカの貿易総額は、2014年には2250億米ドルに到達。南アと中国は貿易不均衡を是正するために、総額940億ランドの26の合意にサインした。2015年4月、南アは中国に対して730億ランドの貿易赤字を記録した。

●南ア-中国関係②

南ア産業開発公社(IDC社)と北京汽車(Beijing Automobile Works)は、南アで自動車製造工場を建設する120億ランドの契約を結んだ。中国開発銀行は、公共事業インフラ計画を支援するために、エスコムに5億米ドルのローンを提供する。トランスネットは、中国輸出信用保険公司から25億米ドルの資金調達の保証を確保した。

●南ア信用格付けの引き下げ

格付け会社フィッチが南ア信用格付けを「BBB」から「BBB-」へ格下げした一方で、今後の見通しを「ネガティブ」から「安定的」に修正。GDP成長率のパフォーマンス、成長性の推定値弱体化、政府債務の増大を反映。スタンダード&プアーズ社は、南アの信用格付けを「BBB-」維持を表明。見通しを「安定的」から「ネガティブ」へ引き下げ。低成長が続く状況を反映。ムーディーズは、「Baa2」を維持する一方で、見通しを「安定的」から「ネガティブ」へ修正。

4. 広報・文化

●日本語能力試験(JLPT)の実施

6日、ヨハネスブルグ日本人学校において、日本語能力試験(JLPT)が実施された。南アでの同試験実施は、今回が2回目となる。JLPTは、国際交流基金と日本国際教育支援協会が主催する、原則、日本語を母語としない人を対象として、日本語能力を測定・認定することを目的とした試験であり、日本国内を含め、世界64か国、208都市(2014年実績)で実施されている。

5 警備

● 年末年始の休暇期間中における防犯対策について

南ア当局は、犯罪統計上、クリスマスシーズンにおける一般住宅をターゲットにした侵入強盗及び窃盗(空き巣)被害が増加傾向にあるとして、防犯対策を強化するよう注意を呼び掛けている。また、南ア国家警察は、強盗事案の発生が懸念されるショッピングモールに制服警察官を増員配置するなどして同期間中における警戒を強化している。

南ア当局関係者は、長期間留守にする場合には、①管轄の警察署又はセキュリティ会社等から、居住地区に特化した犯罪傾向等の情報収集に努める、②ツイッター等ソーシャルメディアで旅行プラン等を開示しない、③近隣に郵便物の回収、夜間照明の点灯を依頼する、④ホームセキュリティ(機械警備)の事前点検、バッテリーの確認を行うなど、同期間中における防犯対策を呼び掛けている。

(了)